

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
野崎南・寺川地区

平成29年11月

大阪府大東市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	図書館利用者の登録利用者割合	%	18.2	35.0	20.1	見込み ●	△	あり ●	なし ●	20.0	H28年11月	△	指標に適切とはいえない面があり、目標値の設定に無理があった。 ■改善策はそのまま □改善策に補強が必要 □新たに改善策をたてる	市立図書館利用登録者数に占める東部地域住民の割合について評価する本指標では、目標達成に至らなかった。要因として、市外在住の登録者数が大きく増加し、相対的に東部地域住民の割合が低く抑えられたこと、もともと既存の図書館で利用登録をしていた者は改めて東部図書館で登録を行わなかったことが考えられる。
指標2	道路対策の満足度	相加平均	2.43	3.50	3.10	見込み ●	△	あり ●	なし ●	3.16	H28年12月	△	目標値の設定に無理があった。 ■改善策はそのまま □改善策に補強が必要 □新たに改善策をたてる	満足度の向上は図られたものの、目標達成には至らなかった。ただ、「整備済み道路に対する満足度」が3.81と高いことから、「道路整備による安全性・通行性の向上」については効果が発揮された。
指標3	歴史文化遺産の認知度	相加平均	3.11	4.00	3.31	見込み ●	△	あり ●	なし ●	3.42	H28年12月	△	目標値に区域外で整備を行わない箇所も対象としていたため ■改善策はそのまま □改善策に補強が必要 □新たに改善策をたてる	観光案内・情報板の整備について、認知度の観点から評価する本指標において、目標達成に至らなかったが、周知の効果が表れ、評価値よりも向上した。
指標4						見込み ●		あり ●	なし ●				□改善策はそのまま □改善策に補強が必要 □新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	東部地域住民図書館登録率 [指標1補完]	%	19.0	/	36.5	確定 見込み	●	/	/	41.2	H28年11月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	指標1は目標達成には至らなかったが、東部住民の図書館登録率は確定値でさらに上昇しており、東部図書館整備の効果が拡大していると評価できる。
その他の数値指標2	歴史文化遺産を活かした市の取り組み満足度 [指標3補完]	相加平均	2.56	/	3.41	確定 見込み	●	/	/	3.42	H28年12月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	指標3は目標達成には至らなかったが、歴史民俗資料館の整備や情報板設置等、歴史文化遺産を活かした市の取り組みについての評価は従前値よりも大きく向上した。
その他の数値指標3				/		確定 見込み		/					<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入